

『老後の年表』

人生後半50年でいつ、何が起きるの？
で、私はどうすればいいの？

老後問題解決コンサルタント 横手彰太著

人生100年時代と言わ

われて久しい。学校を卒業した後、長い会社勤めのサラリーマン生活を送り、60歳前後で定年退職。そしてもっと長い第二の人生が待ち受ける。どう生きればいいのか。

それは世代や生まれ育った環境によっても異なるし、就職氷河期以降、明確になった年功序列賃金や終身雇用制度の崩壊で、「定年」や「老後」に対する意識は大きく変

わってくるだろう。

だが、50歳前後、人生の後半に差し掛かった時期からさまざまな問題に直面することは変わらな

い。家族問題、健康問題、財産を巡るリスクやトラブルもある。そうした人生後半に襲ってくる問題は事前に知っていれば、いざという時も比較的冷静に対応できるだろう。そんな心構えと対策を本書は教えてくれる。著者は老後問題解決コ

ンサルタント。都内の不動産会社・日本財託に勤務し、相続などの資産問題ををはじめ、数多くの老後問題を解決。1000

人以上から相談を受け、250組以上の家族会議に参加して、財産管理をサポートしてきた。その実績に基づいた年表をひも解いて見ると。

50歳「親の介護で「介護うつ」と「介護離職」が忍び寄る▽53歳「親が亡くなり、遺産相続の争

老後の年表

人生後半50年でいつ、何が起きるの？

すべてに『解決策』をご用意。

横手彰太

い勃発▽55歳「役職定年。働き盛りに給与もやりがいもカット▽56歳「熟年離婚予備群に仲間入り▽60歳「年収は半分、仕事は新人レベルに逆戻り▽62歳「銀行の勧めで財産が「半凍結」状態に▽66歳「がん発症率急増……。次から次へと問題が押し寄せてくる。

これだけでは気が滅入ってしまうが、前向きな解決策を示したのが第2部「老後の生活が豊かになる3つの視点」だ。少し救われた気がした。A5判、2色刷り204ページ。かんき出版刊、本体定価1500円。